



# あひるぐみだより

2020年度11月号

社会福祉法人 尚徳福社会  
生麦保育園

日に日に秋が深まり、戸外遊びが気持ちよく感じられます。子どもたちは、園庭や散歩先に落ちている葉っぱを拾い、嬉しそうに見せてくれたり、ヒラヒラと落としてみたり、指先でクルクルと回したりして遊んでいます。季節の変わり目ということもあり、子どもたち一人一人の体調を見ながら、戸外遊びや散歩などを取り入れて、これからも秋の自然を楽しみたいと思います。



## 秋の製作①とんぼ

## 秋の製作②お月見

とんぼの製作を行いました。子どもたちと一緒に『とんぼのめがね』の歌を歌い、クレヨンで画用紙にグルグル、チョンチョン、ゴシゴシと絵を描きました。保育者が、子どもたちの描いた絵を切り、羽にすると、とても素敵な「ぴかぴかめがね」のとんぼがたくさん出来上がりました。廊下のすだれに、一つ一つ飾っていくと、子どもたちは、「とんぼさんだ〜」「あかだ!」「きいろだ!」と大喜び。廊下が一気に秋色になりました。



十五夜が近いこともあり、お月見製作を行いました。オレンジ色の絵の具を使い、スポンジで、ポンポンポンと月型の黄色い画用紙に模様をつけました。二匹のうさぎは、子どもたちの足型で表現しています。自分の作品が部屋に飾られると「うわ〜みて〜おつきさま!」と嬉しそうに作品を見上げ、指をさして自分のお月見製作を友だちや保育者、保護者の方にも教えていました。



## さんぽ in 貝ノ浜公園

最近涼しくなってきたこともあり、よく散歩に出掛けています。先日は、貝ノ浜公園に行ってきました。子どもたちは、保育者が散歩に行く準備を始めると、ワクワクするようで「さんぽ!」「さんぽ!」と散歩コールが始まります(笑)バギーに乗る子、歩いていく子に分かれて出発です。道中では車の色を当てたり、お花を見て「きれいだね〜」と話したり、「あ!むし!むし!」と飛んでいる虫を指さして大盛り上がり。公園に着くと、一斉にかけっこが始まります。保育者も後に続いて走り始めると、「きゃー!」と言って逃げ、いつの間にか鬼ごっこになっていることも…。そんな子どもたちに、今大人気の物があります。それは、「ねこじゃらし」です。ねこじゃらしをみつけるとプチッと摘み、「みてみて〜」と、とても嬉しそうに手に持ったり、「こちょこちょこちょ〜」とお友だちや保育者をくすぐったりして遊んでいます。これからもたくさん秋の自然探しにみんなでお出掛けに行きたいと思います。

## 厚着になっていませんか?



寒くなると、厚着になっていませんか? 子どもたちは元気に戸外を走り回ったり、集団遊びを楽しんだりして、体を動かしています。厚着だとすぐに汗をかき、汗が冷えると風邪をひく原因にもなります。重ね着などで衣服が調節できるようにし、昼間は薄着で過ごせるようにしましょう。